

会社訪問

Companies for interviews

冷熱機器の設計から製作、施工、 メンテナンスまで一貫体制を構築

有限会社柴田熔接工作所

● 会社概要 ●

商号	有限会社柴田熔接工作所
企業コード	800114765
所在地	本社 福岡市南区塩原3-13-16 工場 福岡県大野城市仲畑2-2-43
代表	柴田 勝紀氏
電話	092-501-9798
設立	昭和48年3月
資本金	1500万円
事業内容	冷凍冷蔵装置、製氷機などの 設計・製作・施工
URL	http://swc-jp.com/

冷凍冷蔵装置や製氷機などの冷熱機器の設計・製作・施工を手がける(有)柴田熔接工作所(福岡県大野城市)。同社は近年、冷熱装置関連で高い技術を有する欧州の冷蔵冷凍機器メーカーとの連携も積極的に推進し、欧州メーカーの製品も取り扱っている。来年1月には、イタリア・キャレル社と合併会社を設立し、キャレル社製品の販売を本格化する考えだ。同社の柴田勝紀・代表取締役社長に話を聞いた。

ショールームを開設

―事業内容について教えてください。

「弊社は、各種冷熱機器の設計・製作・施工などを行っています。創業当初は大手メーカーへのOEM供給を主体としていましたが、9年前から自社製品を製造するようになり、現在では半分を占めるまでになりました。現在、フレイクアイス製氷機、シャーベットアイス製氷機などの製氷機や、低温機器、フリーザーなどの食品プラント、空調設備、電子膨張弁などの冷熱機材などを主体に取り扱っています」

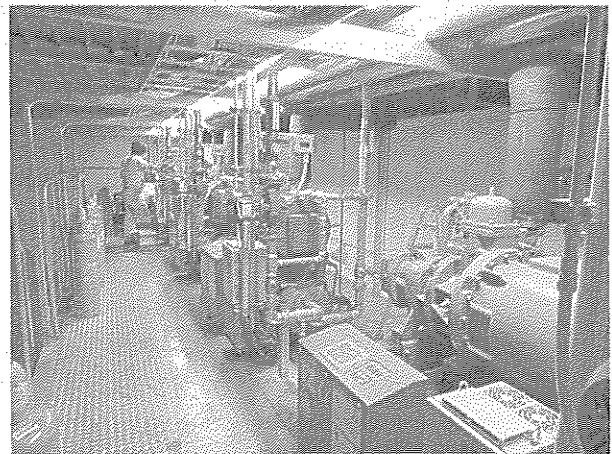
―御社の強みはなんでしょうか。

「この業界では分業化が進んでいますが、弊社は設計から製作、施工、メンテナンスまで一貫して自社で行っています。近年、ユーザーの価格要求が厳しくなる中、一貫体制によるコスト削減効果や管理面での優位性が弊社の強みとなっています。数年前から、省エネなど環境基準の規制が厳しい欧州で、優れた冷蔵冷凍技術を持つドイツやフランス、イタリアの製品も取り扱っています。2009年7月には本社の近くにショールームを開設し、自社製品や欧州メーカーの製品を展示しています。最近は見学に来られるお客様も増えてきました」

復興支援の一環として東北地区に工場を計画

―水産業界向けの受注も順調ですね。

「東京や大阪などで開催される水産業界向け



冷凍設備の施工事例

の展示会などに参加し、知名度のアップにも取り組んでいます。今年7月には『ジャパン・インターナショナル・シーフードショー』に出展しました。昨年3月の東日本大震災で、東北地区は地場産業の柱の一つでもある水産業が大きな被害を受けました。もともと、東北地区の水産会社との交流もあって、復興に向けた手助けや雇用の場を提供したいとの思いから、現地に工場を開設する計画です。従業員が確保できれば、実現したいと考えています。

来年1月に合併会社を設立

―今後の展望など。

「現在、イタリアのキャレル社と合併で「キャレルジャパン」の設立準備を進めており、来年1月にも設立する予定です。キャレル社の製品は、イタリア国内にあるスーパーのショーケースで実験したところ、従来のものより約30%もの省エネ効果があったとのことでした。弊社は来年、創業50周年を迎えますが、環境にもやさしいキャレル社製品を本格的に販売していく一方、さらなる品質の向上に取り組む、自社製品のブランド力も高めていきたいと考えています」